

取材依頼

2025年2月20日(木) 11:30 配信
ミュージア川崎シンフォニーホール

3.11 第11回 被災地復興支援チャリティ・コンサート開催 東北・能登へ“声”の祈りを奏でる—ホールアドバイザー、東京混声合唱団とともに

ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市幸区大宮町 1310)は、2025年3月11日(火)に11回目となる「被災地復興支援チャリティ・コンサート」を開催します。当ホールは2011年の東日本大震災で甚大な建築被害を受け、その復旧のために川崎市民やオーストリア・ザルツブルク音楽祭をはじめ国内外の多くの個人・団体の皆様からご支援をいただきました。3月11日はミュージア川崎シンフォニーホールにとって忘れてはならない日であり、音楽とともに震災犠牲者の皆様に追悼し、復興に貢献するためにチャリティ・コンサートを開催しています。コンサートでは、東日本大震災の地震発生時刻にあわせて黙祷を行うほか、**本公演のチケット収入および場内募金箱へのご寄付を、日本政府を通じた東日本大震災義援金、および川崎市を通じた令和6年能登半島地震被災者支援等寄附金として被災地へ全額寄附いたします。**



2024年チャリティ・コンサートでの黙祷の様子 © T.Tairadate

“歌い つなぐ想い” 歌、オルガン、ジャズで届ける祈り、そして未来へ

第11回目となる今回は、**東京混声合唱団**を迎えて、“歌い つなぐ想い”をテーマにお贈りします。前半は、「おお運命の女神よ」(オルフ作曲『カルミナ・ブラーナ』より)、アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト作曲)や、ホールアドバイザー(*)の**松居直美氏(オルガン)**によるオルガン独奏を、鎮魂と祈り、“震災を忘れない”というメッセージとともにお届けします。

後半は、“未来へつなぐ”をキーワードに、東日本大震災で被災した南相馬市立小高中学校の卒業生の言葉をあつめて歌詞を紡ぎ、同校音楽教諭の小田美樹氏が作曲した合唱の名曲「群青」をはじめ、「いのちの歌」「花は咲く」などをお届けします。またホールアドバイザーの**宮本貴奈氏(ピアノ・作編曲)**も加わり、平和を願って書かれた「What a Wonderful World」(この素晴らしき世界)などを演奏するジャズパートもご用意しました。

ぜひ多くの皆さまにお越しいただきたく、本公演の告知および取材にご協力のほどよろしくお願いたします。



写真(上から):東京混声合唱団©中村紋子/ホールアドバイザー-松居直美(オルガン)©木ノ下晃/ホールアドバイザー(ジャズ部門):宮本貴奈(ピアノ・作編曲)

*【ホールアドバイザーとは】ミュージア川崎シンフォニーホールではホールアドバイザー制度を採用しており、国内外で活躍する日本を代表するアーティストがミュージアの“顔”として活動しています。各アドバイザーは、ミュージアの在り方や主催公演へのアドバイス、国内外へのアピール、そしてそれぞれの個性を發揮した企画公演を行います。

* * * * *

取材お申込み《締切:3/5(水)》 FAX 044-520-0103 / press@kawasaki-sym-hall.jp

お名前		
ご所属等		
ご連絡先(いずれか)	Email	お電話

※当日は「招待受付」にお越しく下さい。座席券をお渡します。

※公演中の客席内での写真撮影・録音はお断りします。黙祷時の写真撮影は、サイレンサー付き、ミラーレスなどの機材でお願いいたします。シャッター音の出る機材はご遠慮ください。オフィシャル写真の提供も承ります。ニュース映像の撮影につきましてはご相談ください。募金の様子など、ロビーでの撮影は随時可能です。

【取材に関するお問合せ】

ミュージア川崎シンフォニーホール 事業企画課 佐藤・森 044-520-0100(代) press@kawasaki-sym-hall.jp

【資料1】3月11日に開催したこれまでのチャリティ・コンサート

主催:川崎市、ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

開催年・タイトル	出演者	募金先・金額
2014年 東日本大震災 復興チャリティ・コンサート 「届けたい、音楽の心」	パイプオルガン:松居直美/ピアノ:小川典子/ジャズピアノ:佐山雅弘/ヴィオラ・ダ・ガンバ:福沢 宏/ソプラノ:鈴木美登里/ヴィオラ:川本嘉子/サクソ:本田雅人/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,765,365 円
2015年 ミュゼ川崎シンフォニーホールから東北へ 第2回 東日本大震災復興チャリティ・コンサート「届けたい、音楽の心」	パイプオルガン:松居直美/ソプラノ:鈴木美紀子(ゲスト)/ヴィオラ・ダ・ガンバ:福沢 宏(ゲスト)/ピアノ:小原 孝/シャンソン:秋田漣/司会:村上信夫	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 2,181,683 円
2016年 ミュゼ川崎シンフォニーホールから東北へ 第3回 東日本大震災復興チャリティ・コンサート「届けたい、音楽の心」	mimi duo(ギター&ピアノデュオ)/佐山雅弘(ピアノ)+水谷 晃(ヴァイオリン、東京交響楽団コンサートマスター)/小原 孝(ピアノ、川崎市市民文化大使)/山田綾子(ソプラノ)、仲澤和駒(テノール)/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,481,171 円(※1)
2017年 第4回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団	川崎市 東日本大震災被災者等支援基金 1,000,000 円 川崎市 平成28年熊本地震に係る寄附金 617,866 円(※1)
2018年 第5回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,516,676 円 川崎市 平成28年熊本地震に係る寄附金 758,340 円
2019年 ※工事による休館のため開催なし		
2020年 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い公演中止 第6回 被災地復興支援チャリティ・コンサート		川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,924,808 円 (※2)
2021年 第7回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/パイプオルガン:松居直美/ピアノ:小川典子、黒沼香恋/管弦楽:洗足学園音楽大学チャリティオーケストラ/司会:山田美也子	
2022年 第8回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～オルガンとチェロで奏でる祈り～	指揮:秋山和慶/オルガン:松居直美/チェロアンサンブル:山崎伸子、菊地知也、向山佳絵子、長谷川彰子、大友 肇、横坂 源、藤原秀章、矢部優典、上野通明、水野優也、森田啓佑、香月 麗/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金(※3) 1,707,283 円
2023年 第9回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/独唱:塩田美奈子、藤井麻美、中鉢聡、ジョン・ハオ/管弦楽:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団/合唱:被災地復興支援チャリティ合唱団/合唱指揮:中村拓紀/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 1,586,861 円 日本赤十字社 2023年トルコ・シリア地震救援金 277,184 円
2024年 第10回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～4人のホールアドバイザーとともに～	パイプオルガン:松居直美/ソプラノ:鈴木美紀子/ピアノ:小川典子/指揮:秋山和慶/ピアノ:宮本貴奈/管弦楽:東北ユースオーケストラ/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 1,121,072 円 日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金 1,121,072 円

これまでの寄付金額合計 17,059,381 円

※1 第3回と第4回は、会場募金から必要経費を差し引いた金額を寄付

※2 第7回は、チケット収入の同額と会場募金の合計および、第6回の公演中止に伴う払い戻しが行われなかったチケット収入の同額を合計した全額を寄付

※3 川崎市東日本大震災被災者等支援基金が2020年度をもって終了したため、寄付先を変更

【資料2】出演者プロフィール

松井慶太（指揮） ※変更後（下記参照）

1984年青森県八戸市生まれ。東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦の各氏に師事。16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。第15回東京国際音楽コンクール（指揮）にて入賞・奨励賞受賞。2022年よりオーケストラ・アンサンブル金沢コンダクターを務め、2023年に同楽団定期演奏会にデビュー。2024年3月には名古屋フィル定期演奏会に代役指揮者として登壇、公演を成功に導いた。2011年～2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス、2023年4月より東京音楽大学作曲指揮専攻（指揮）特任講師を務める。



* * *

※当初チーフ・ホールアドバイザー秋山和慶氏の指揮を発表しておりましたが、残念ながら今年1/26（日）にご逝去されたため、松井慶太氏に変更して開催いたします。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

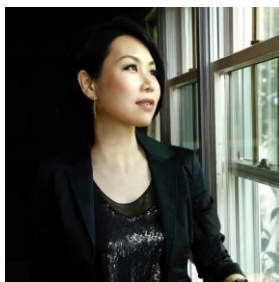
松居直美（オルガン）

フライブルク国立音楽大学卒業。第21回ブダペスト国際音楽コンクールなど、国内外のコンクールで優勝。国内外で定期的に演奏すると同時に、オーケストラとの共演や啓発活動にも携わる。国際コンクールの審査員も務める。平成25年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。平成26年度下総院一音楽賞受賞。武蔵野市民文化会館でのJ.S.バッハ全曲演奏会が好評継続中。共編著に「オルガンの芸術」（道和書院）がある。聖徳大学音楽学部教授。ミュゼ川崎シンフォニーホールアドバイザー。武蔵野市民文化会館オルガン・スクール講師。（一社）日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員。



宮本貴奈（ジャズピアノ／作編曲）

国際的に活躍するピアニスト・ヴォーカリスト・作・編曲家。米バークリー音楽大学、ジョージア州立大修士卒。全米エドマンズジャズピアノ大会優勝。「アトランタベストジャズアクト（2年連続）」「ジョージア州で最も影響力のある女性」他受賞。



参加作が2001年米グラミー賞2部門でノミネート。20年間米英を拠点に活動後、2013年帰国。ソロ活動の他、八神純子、佐藤竹善、サラ・オレイン、小野リサ、大黒摩季、May J.、絢香、稲垣潤一他共演。2020年CD【ワンダフル・ワールド】でミュージック・ペンクラブ音楽賞最優秀作品賞受賞。作・編曲、プロデュース、音楽監督、オーケストラ、TV・映画の劇伴音楽まで幅広く手がける。国立音楽大学ジャズ専修講師。2023年4月よりミュゼ川崎シンフォニーホールのジャズ部門ホールアドバイザーに就任。茨城県結城市出身。

東京混声合唱団（合唱）

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。現在桂冠指揮者を務める田中信昭によって創設され、現在の音楽監督は山田和樹が務めている。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演を行っている。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団や青少年との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。



鈴木慎崇（ピアノ伴奏）

札幌市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールにて、それぞれ第1位。ソリストとしてさまざまなオーケストラと共演。室内楽の分野においてリサイタル、FM、CD、配信などで数多くの演奏家と共演。国内外の音楽祭、コンクールなどで公式伴奏者をつとめ、高い評価と信頼を得ている。オーケストラの演奏会にて鍵盤楽器奏者として度々出演。読響、N響の定期演奏会にてストラヴィンスキー作曲「ペトルーシュカ」のピアノを担当し、好評を博す。アンサンブルピアニストとしての活動は多岐に渡り、東京混声合唱団とも数多く共演している。武蔵野音楽大学、東京藝術大学非常勤講師を務めたのち、現在洗足学園音楽大学非常勤講師として、後進の指導にあたっている。

